

令和8年度

中学生体験学習を終えて



市内6中学校の3年生を対象に、東日本大震災被災地などを視察する中学生体験学習を6月に実施しました。生徒たちは、震災遺構や語り部の話を見聞することで、甚大な被災と復興の状況を自分の目で確かめる貴重な体験ができました。

今回の体験学習では、生徒たちが災害と向き合うために必要な視点を深く考える貴重な機会となりました。学術研究員による講義を通じて、被災地で人々が直面する現実や、命を守る行動の意味について理解を深め、災害は突然日常を奪うものであることを改めて実感しました。生徒たちは、意見を出し合いながら「自分の行動が誰かの未来を支える」という防災の本質に気づき、災害時にどう判断し、どう動くべきかを真剣に考えました。

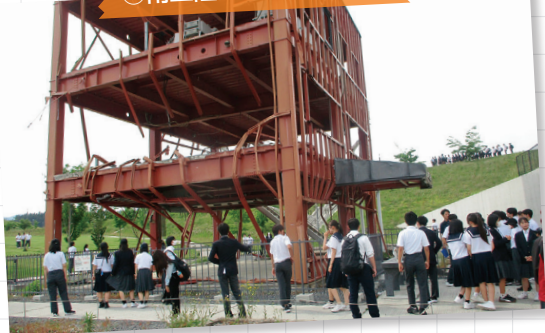
今回の学びは、生徒一人ひとりの防災意識を確かなものとし、地域の安全を守る担い手として成長するきっかけとなりました。

学校としても、地域とともに災害に強い社会を築くための取り組みを今後も続けていきます。

◎本事業は、「学校、家庭、地域連携協力推進事業費補助金」を活用し、実施しています。

◆主な視察先

①南三陸旧防災対策庁舎



②気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



③石巻南浜津波復興祈念公園
(3.11メモリアルネットワーク語り部)



③石巻南浜津波復興祈念公園
(3.11メモリアルネットワーク語り部)



④ワークショップ



④ワークショップ

